



くすい箱

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部

発行責任者 田村 潤一

編集担当者 矢古宇 由佳

小島 強

第23回目のテーマは“認知症”についての紹介です。

『認知症』と『もの忘れ』の違い

認知症は、単なるもの忘れではありません。はじめのうちは、歳のせいによるもの忘れとの区別が付きにくい病気です。大きな違いの一つとして、歳のせいによるもの忘れは体験の一部を忘れていたのに対し、認知症は体験のすべてを忘れてしまうという点があげられます。

年相応のもの忘れ (生理的健忘)	認知症のもの忘れ (病的健忘)
体験の一部分を忘れる	体験全体を忘れる
本人が自覚している	本人が自覚に乏しい
日常生活に支障がない	日常生活にも支障がある
人の名前を思い出せない、ものを置き忘れる	誰かが盗ったということがある、取りつくろい、しばしば作話あり
進行はしないか遅い	進行が速い

『認知症』とは

脳や身体の疾患を原因として、記憶・判断力などの障害がおこり、普通の社会生活がおくれなくなった状態と定義されています。初期症状で最も多いのはもの忘れですが、それ以外の症状ではじまることもあります。意欲、自発性の低下(やる気がおこらない、これまでやっていた事をしなくなった、ものぐさになった)やうつ症状、言葉の障害、注意力低下など初期症状のことがあります。

認知症の分類

「アルツハイマー型認知症」が50%以上を占めています。その原因は不明ですが、脳内でさまざまな変化がおこり、脳の神経細胞が急激に減ってしまい、脳が小さくなって高度の知能低下や人格の崩壊がおこる認知症です。

アルツハイマー型認知症の臨床診断(ステージ)と臨床的特徴

臨床診断(ステージ)	臨床的特徴
軽度のアルツハイマー型認知症	<ul style="list-style-type: none"> 年月日の感覚が不確か《時間の見当識障害》 夕食の準備や買い物(必要な材料、支払い)で失敗する
中等度のアルツハイマー型認知症	<ul style="list-style-type: none"> 近所以外では迷子になる《場所の見当識障害》 買い物を一人でできない

	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合った服、釣り合いの取れた服が選べず、服をそろえるなど介助が必要となる ・入浴を忘れることがあるが、自分で体をきちんと洗うことができ、お湯の調節もできる ・自動車を安全に運転できなくなる ・大声をあげるなどの感情障害や多動、睡眠障害により、医師による治療的かかわりがしばしば必要になる
高度のアルツハイマー型認知症	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者や子供の顔もわからない《人物の見当識障害》 ・家の中でもトイレの場所がわからない 【着衣に介助が必要】 ・寝巻きの上に普段着を重ね着してしまう ・ボタンをかけられなかったり、ネクタイをきちんと結べない 【入浴に介助が必要】 ・お湯の温度や量の調節ができない ・体をうまく洗えない ・風呂から出た後、体を拭くことができない 【トイレに介助が必要】 ・きちんと拭くことを忘れる、また済ませたあと服を直せない 【尿・便失禁】 【言語機能、語彙の衰退】 ・話し言葉が途切れがちになり、単語、短い文節に限られてくる さらに進行すると、理解しうる語彙はただ1つの単語となる 【歩行能力の衰退】 ・ゆっくりした小刻みの歩行となり、階段の上り下りに介助を要する

監修：認知症介護研究・研修東京センター 本間 昭、住友病院 神経内科 宇高 不可思
 Reisberg, B. et al.: Special Research Methods for Gerontology, Baywood, 195-231(1989)より改変

抗認知症薬

商品名	アリセプト	レミニール	イクセロンパッチ	メモリー
発売年月	1999年11月	2011年3月	2011年7月	2011年3月
作用機序	コリンエステラーゼ阻害剤			NMDA受容体阻害薬
適応	軽度～高度	軽度～中等度	軽度～中等度	中等度～高度
形状	経口薬	経口薬	貼り薬	経口薬



2010年までアリセプトのみでしたが、昨年新しく3剤が発売になりました。3つのコリンエステラーゼ阻害薬は併用することはできませんが、メモリーとの併用は中等度以上のアルツハイマー型認知症であれば可能です。

アルツハイマー型認知症は、早期に発見して進行を抑える治療を始めることが大切です。

気になる症状がありましたら、早めの受診をおすすめします。



参考：エーザイ株式会社ホームページ

<http://www.e-65.net/index.html>

今回は、2012年6月発行予定です。